

睦月号 道徳だより



京都市道徳教育研究会
 会長 前田 恵美
 広報部 部長 保本 貴之
 副部長 宮田 勝行
 尾花 陽一朗



テーマ：「夏季研修講座」実践報告のまとめ

児童の「心」を揺らす授業を目指して — 女学生の「うそ」をあなたはどのように思いますか —
 京都市立上賀茂小学校 保本 貴之 教諭

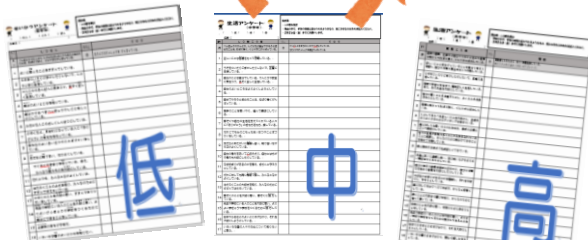
ゴールを見据えて授業を行うために — 目指すゴールとは？ —



各校の学校教育目標
 目指す子ども像

お、ここは子たちの
 「強み」と言えるな

ここはできていない
 …伸び代・課題だな



道徳アンケート（低・中・高学年で表現が異なる）で、
 児童の実態や思いを把握
 「こんなことを思っているのだな」
 「こんな部分が『できていない』と感じているのだな」

ゴールに向かうための
 方法の1つとして…？

① **捉えたことを授業に生かす**

◆ 「児童の実態に合った発問にしてみよう！」

女学生の「うそ」を、あなたはどのように思いますか。
 生きる力5 「かあさんの歌」

3つのつつみは、これからも続いていくで
 しょうか。生きる力4 「3つのつつみ」

たった一人のお客様の前で手品をする「手品
 師」はどんなことを思っていたらう（心の顔
 を描こう）生きる力6 「手品師」

② 「ゆさぶり」で学びを広く、深くする

「ここ」を考えさせたい

友だちと比べて「気付き」をもたせたい

人の弱さ、ズルさに目を向けさせたい

◆ **価値理解** **他者理解**
人間理解 のために



実践例（生きる力5 「かあさんの歌」）

え？でも本当のかあちゃんじゃないよね？女学生は
 どうしてこんな嘘を言うの？（児童 ぼうやのため）

中心発問

女学生の「うそ」を、あなたはどのように思いますか。

- ◆ 「ぼうやを安心させるために言ってるのだから、当然いい」
- ◆ 「ぼくもそう思う。ぼうやだって、1人でぽんとして、
 ずっと泣いているより絶対よかったと思うし。」
- ◆ 「でも『うそ』って分かったら本当のかあちゃんがいい
 って、思うんじゃないかな。」
- ◆ 「わたしもそう思います。死んでから『やっぱり違っ
 たんや』って思わせるのはかわいそうやと思います。」

みんなの意見、バラバラのように見えて、実は共通
 するところが見えてくるね、それはどこかな…？

「やる気スイッチ」が入る発問



必然性がある

切実性がある

自由な思考を促し

多面的、多角的に思考する

総合ポータルサイトの研修動画一覧に令和3年度夏
 季研修講座の動画がアップされています。詳細をお知
 りになりたい際はアクセスしてみてください。

GIGA 端末を活用した道徳科の授業

ねらい 自由を大切にし、自律的に判断し、責任のある行動をしようとする態度を育てる (A - 1)
5年 「夏休みの自由研究」

京都市立御室小学校 大平 龍之介 教諭

〈タブレットの活用〉 -ロイロノートでカードを選ぶ-

自由でもよい

自由の考えがちがう

夏休みの宿題としては間に合っているのだから僕の自由はよい。

集団の中での自分だけの自由を通すと迷惑になる。

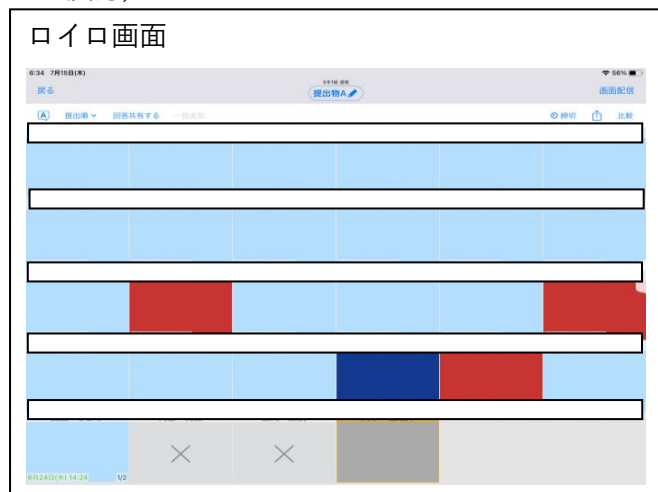
色々指定されると、自由ではなくなる。

忘れていたことは悪いけれど自由だったのだから責められる必要はない

ぼくの自由は自分勝手にただのわがままだった。

自由の中にも友達を思う心や責任は必要だ。

(子どもの反応)



一覧にしたことで、子どもたちの考えは自由の考えがちがう方が多いことが分かる。

授業の流れ

① 導入

自由研究の「自由」についてどう思うか？

- ・いつしても OK
- ・どこでも OK
- ・何をしても OK
- ・だれと何人でも OK

考えを可視

めあて

自由にする時の大切さについて考えよう

③ 発問

自由の責任を果たせなかった主人公はどんな思いだったか？

- ・やってしまった
- ・迷惑をかけた
- ・きちんとしておけば
- ・よく考えておけば

④ 中心発問

主人公はどんな大切なことに気付いたのか？

- ・友だちとの約束
- ・友だちのことを考えていなかった

⑤ 後段の発問

(自分事として考える納得解のために)

自己内対話に

「どっちにしようかな
…よし、私は『赤』にしよう。
どうしてかと言うと…」



児童の主体性・意欲に

「(意見一覧を見て) え！？絶対『赤』だと思うのに…○○さんの意見を聞きたいなあ。」



GIGA端末を使うことで…

多面的・多角的な学びに

「私と同じ『赤』だけど、理由が全然違う！」
「『青』の方が数は少ないけれど…確かに、そういう考え方に納得。」

「GIGA 端末を何のために使うのか」、意図や目的をもち、効果的に活用していきましょう。

「気を付けよう！」

- * 対立させると意見を収束させるのが難しい。児童の反応を十分に検討し、補助発問を吟味する。
- * 黒板のどの位置に、どんなジャンル（諸価値）の意見を書くか考えておく等、板書整理を工夫。